

事業番号

2023 - 文科 - 新24 - 0020

令和5年度行政事業レビューシート		( 文部科学省 )					
事業名	宇宙戦略基金の創設		担当部局	研究開発局		作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和15年度	担当課室	宇宙開発利用課	宇宙開発利用課長 上田 光幸	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等	・宇宙基本計画 (令和5年6月13日閣議決定) ・経済財政運営と改革の基本方針2023 (令和5年6月16日閣議決定)			
政策	政策9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応		主要経費	科学技術振興費			
施策	施策9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211008-mxt_kaikessou02-000018185_0031.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	宇宙における活動を通じた経済・社会の変革(スペース・トランスフォーメーション)に向けて、以下の目標を加速的に実現する。 ①宇宙関連市場の拡大 ②宇宙を活用した地球規模・社会課題解決への貢献 ③宇宙における知の探究活動の深化・基盤技術力の強化						
現状・課題 (5行程度以内)	人類の活動領域の拡大や、宇宙空間からの地球の諸課題の解決が本格的に進展する中、多くの国が宇宙開発を国の事業として強力で推進しつつ、民間事業者は技術革新と商業化を強力で推し進めているなど、グローバルな競争環境も激化しており、宇宙活動に革新的な変化をもたらす技術進歩が急速に進展している。欧米の宇宙開発機関が、シーズ研究を担う大学等や商業化を図る民間企業等の技術開発への資金供給機能を有していることや、我が国宇宙産業が宇宙開発の中核機関たるJAXAの研究開発成果を基盤にビジネス展開しているケースも多いこと等を踏まえ、喫緊の課題である我が国の研究開発レベル・技術力の底上げに向けて、JAXAの先端・基盤技術開発能力のみならず、JAXAによる民間企業や大学等の支援機能を強化し、JAXA、民間企業及び大学等が失敗を恐れずにチャレンジすることで、我が国の宇宙産業を支える技術的優位性を継続的に作り続ける必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	我が国の中核的宇宙開発機関であるJAXAの役割・機能を強化し、スペース・トランスフォーメーションの加速を実現する。このため、民間企業・大学等が複数年度にわたる予見可能性を持って、宇宙関連市場の拡大、宇宙を活用した地球規模・社会課題解決への貢献、宇宙における知の探究活動の深化・基盤技術力の強化に向けた研究開発に取り組めるよう、新たな基金を創設し、産学官の結節点としてのJAXAの戦略的かつ弾力的な資金供給機能を強化する。						
事業概要URL							
実施方法	補助						
補助率等							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	150,000	
		令和5年度第1次補正予算				150,000	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	150,000	3,000
		執行額(G)	-	-	-		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費			重要政策推進枠3,000百万円		
	(目)	宇宙開発支援事業費補助金		3,000			
		その他	-				
	計(A)	-	3,000				

活動内容① (アクティビティ)		宇宙関連市場の拡大に向けた研究開発の推進								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		宇宙関連市場の拡大に資する研究開発課題を支援する	新規採択分を含む当該年度の支援件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	-	-
↓		<p>成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</p> <p>研究開発の進捗やTRLの進行に伴い、地上あるいは軌道上での実証が必要となるため。 なお、アウトプット・アウトカム指標については、事業全体としての指標に限らず、今後決定する研究開発の対象領域の特性・市場動向等に照らして、指標の追加や入れ替え等を個別に検討する予定である。</p>								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		地上実証及び軌道上実証の実施	本事業において当該年度に地上又は軌道上実証が行われた回数	成果実績		-	-	-	-	
				目標値		-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		(出典)JAXA調べ 目標値は各事業の計画における当該年度の実施予定件数に応じて定める。								
↓		<p>成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</p> <p>研究開発課題で支援を受ける宇宙関連スタートアップ企業等が事業の拡大等に向け資金調達を実施するため。</p>								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 11 年度	
		宇宙関連スタートアップ企業の調達額の増加	本事業で支援を受けたスタートアップ企業の当該年度の本事業以外での資金調達額の合計	成果実績	億円	-	-	-	-	
				目標値	億円	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		(出典)JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする。								
↓		<p>成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)</p> <p>宇宙関連のスタートアップ企業への投資額が増えることで、事業が拡大し国内の宇宙関連市場が拡大するため。</p>								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		宇宙関連市場の拡大	我が国の宇宙産業の市場規模(億円)	成果実績	兆円	4	-	-	-	
				目標値	兆円	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		(出典)宇宙基本計画								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

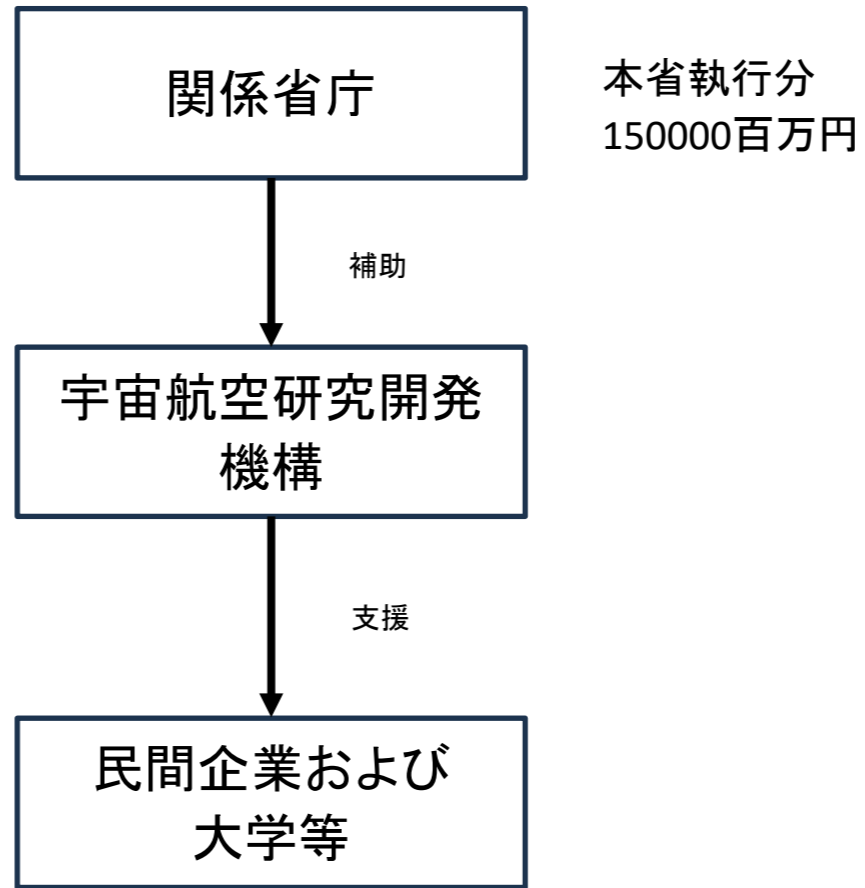
活動内容② (アクティビティ)	宇宙を活用した地球規模・社会課題解決への貢献に向けた研究開発の推進									
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	宇宙を活用した地球規模・社会課題解決への貢献に資する研究開発課題を支援する	新規採択分を含む当該年度の支援件数(再掲)	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	15	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	研究開発の進捗やTRLの進行に伴い、地上あるいは軌道上での実証が必要となるため。 なお、アウトプット・アウトカム指標については、事業全体としての指標に限らず、今後決定する研究開発の対象領域の特性・市場動向等に照らして、指標の追加や入れ替え等を個別に検討する予定である。(再掲)								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度		
	地上実証及び軌道上実証の実施(再掲)	本事業において当該年度に地上又は軌道上実証が行われた回数(再掲)	成果実績	回	-	-	-	-		
			目標値	回	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	(出典)JAXA調べ 目標値は各事業の計画における当該年度の実施予定件数に応じて定める。(再掲)									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	軌道上実証等を踏まえ、社会課題解決に向けた自治体等との契約や、地球規模課題解決に向けた国際的な議論の場での情報提供等の公的利用が進むため。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
	地球規模・社会課題解決への貢献	当該年度における本事業の成果を活用した公的機関・国際的枠組みへのサービス等の提供回数	成果実績	回	-	-	-	-		
			目標値	回	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	(出典)JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容③ (アクティビティ)		宇宙における知の探究活動の深化・基盤技術力の強化に向けた研究開発の推進								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		宇宙における知の探究活動の深化・基盤技術力の強化に資する研究開発課題を支援する	新規採択分を含む当該年度の支援件数(再掲)	活動実績	件	-	-	-	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	-	-
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		研究開発の進捗やTRLの進行に伴い、地上あるいは軌道上での実証が必要となるため。 なお、アウトプット・アウトカム指標については、事業全体としての指標に限らず、今後決定する研究開発の対象領域の特性・市場動向等に照らして、指標の追加や入れ替え等を個別に検討する予定である。(再掲)								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
		地上実証及び軌道上実証の実施(再掲)	本事業において当該年度に地上又は軌道上実証が行われた回数(再掲)	成果実績	回	-	-	-	-	
				目標値	回	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		(出典)JAXA調べ 目標値は各事業の計画における当該年度の実施予定件数に応じて定める。(再掲)								
↓		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		地上・軌道上実証やその後の探査・実験等により、科学的・学術的な意義のある研究成果が創出されるため。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 11年度	
		本事業から輩出された論文数が増加する	本事業の支援を受けて当該年度に輩出された論文数	成果実績	本	-	-	-	-	
				目標値	本	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		(出典)JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする。								
↓		成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		科学的・学術的価値の大きい論文は、一般的に被引用数が増加するため。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
		論文の被引用数	本事業の支援を受けて輩出された論文の当該年度の被引用数の合計	成果実績	回	-	-	-	-	
				目標値	回	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		(出典)JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

<b>活動内容④</b> (アクティビティ)	宇宙へのアクセス拡大による宇宙開発利用分野への参画									
↓										
<b>活動目標及び活動実績④</b> (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	本事業を通じた我が国のロケットによる 打上げ	当該年度における本事業に係る我が国のロケットの打上げ回数	活動実績	回	-	-	-	-	-	-
			当初見込み	回	-	-	-	-	-	-
↓	<b>成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</b> 輸送分野での研究開発の進捗や本事業における研究課題の進捗に伴う打上げの実施等により、本事業に係るものに限らず、我が国のロケットによる打上げ実績が蓄積されていくため。									
<b>成果目標及び成果実績④-3</b> (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 <input type="text"/> 年度		
	我が国のロケットによる打上げ	当該年度における我が国のロケットの打上げ回数	成果実績	回	3	4	-	-		
			目標値	回	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>	(出典) JAXA調べ 目標値は前年度の成果実績以上とする。									
<b>アウトカム設定について の説明</b>	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由									
	事業期間全体を通じて設定すべきアウトカムであり、段階的に達成するものではないため。									



資金の流れ  
 (資金の受け取り先が  
 何を行っているかにつ  
 いて補足する)  
 (単位: 百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」において  
 ブロックごとに最大の金  
 額が支出されている者  
 について記載する。費目  
 と使途の双方で実情が分  
 かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計			計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック